



証券コード6859

エスペック株式会社

**2013年3月期
第2四半期決算説明会**

2012年11月20日

www.espec.co.jp

目次

事業概要

2013年3月期 第2四半期決算概要

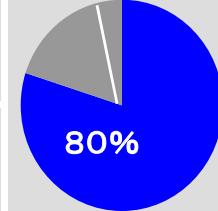
2013年3月期 第2四半期決算 セグメント別分析

2013年3月期 通期計画

2013年3月期 下期取り組み

参考資料

各事業の市場／用途

		主要製品	市場	用途	売上構成比 13/3期2Q
装置事業	環境試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・恒温恒湿器 ・冷熱衝撃装置 ・小型環境試験器 ・恒温恒湿室 ・複合試験機 ・HAST ・チャンバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、電子機器 ・自動車 ・半導体 ・医薬品、化粧品、食品等 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価 <p>※一部「生産・検査」</p>	
	エナジーデバイス装置	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池充放電サイクル評価装置 ・二次電池電極乾燥装置 ・太陽電池評価装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次電池 ・太陽電池 ・次世代自動車 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産 ・R&D ・信頼性評価 	
	半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・バーンイン装置 ・半導体評価装置 ・計測システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体 ・自動車 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産(検査) <p>※計測は開発・評価</p>	
	FPD関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・枚葉式クリーンオープン ・低酸素500℃クリーンオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCD ・有機EL 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産 <p>(アニール・ベーク・乾燥)</p>	
	サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターサービス ・エンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフター サービス ・機器周辺工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体 ・FPD 	—
サービス事業	受託試験レンタル	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・リセール 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器レンタル ・校正 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車 ・通信 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D ・信頼性評価
	その他	<p>森林づくり、水辺づくり、都市緑化</p>			
	新規事業	<p>植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造</p>			



2013年3月期 第2四半期決算概要

決算総括

受注高・売上高は前年同期比で若干減少するも利益面は大幅に増加

P/L

- 二次電池・スマートフォン市場の関連メーカーにおいて設備投資の拡大基調に一部陰りが見られたものの引き続き堅調、自動車関連メーカーも積極的な投資継続
- 家電メーカーは慎重な姿勢が根強く、結果受注高・売上高は若干減少
- 新製品効果や中国子会社の販売拡大などにより、利益面は大幅に増加

B/S、C/F

- 受取手形・売掛金などの減少により、総資産は約7億6千万円減少
- 営業CFの影響により、現金及び現金同等物は約16億3千万円増加

配 当

- 期初計画どおり一株当たり7円の中間配当を実施

※中国反日デモの当社中国子会社への被害はなし

損益の状況

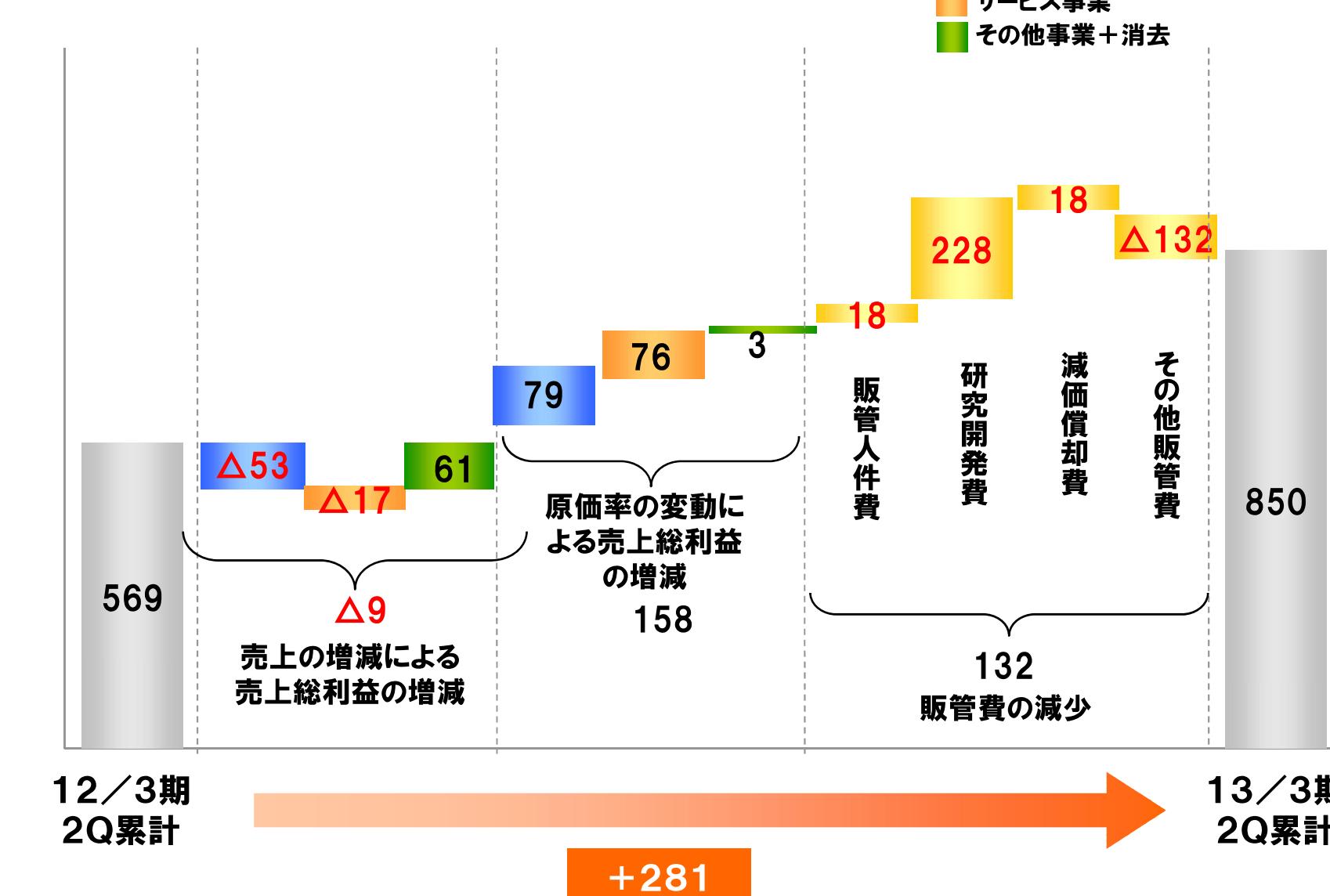
(百万円)

	2012/3期 2Q累計	2013/3期 2Q累計	前期比
受注高	16, 303	16, 137	△1. 0%
売上高	14, 306	14, 290	△0. 1%
売上原価 (原価率) (原価率)	9, 529 (66. 6%)	9, 364 (65. 5%)	△1. 7% (△1. 1pt)
売上総利益	4, 776	4, 925	3. 1%
販管費	4, 207	4, 075	△3. 1%
営業利益	569	850	49. 4%
経常利益	636	876	37. 7%
四半期純利益	521	618	18. 6%

- 売上高は、装置事業およびサービス事業が減少し若干減少
- 利益率の高い製品の販売拡大や内製化等による変動費の低減などにより
売上原価率が1. 1ポイント改善
- さらに中国子会社の利益拡大や販管費の減少などにより営業利益は大幅増

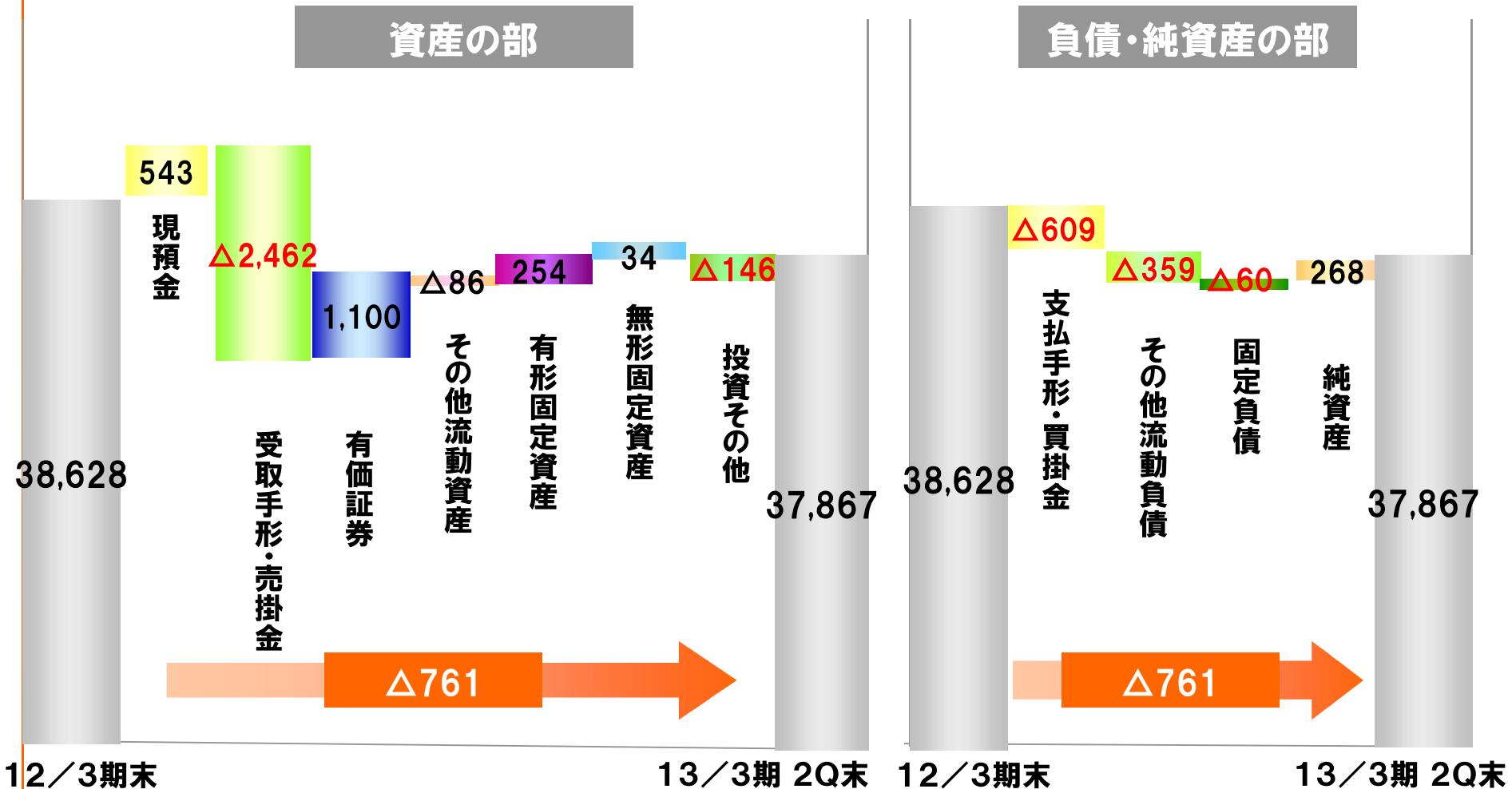
営業利益の増減要因分析

(百万円)



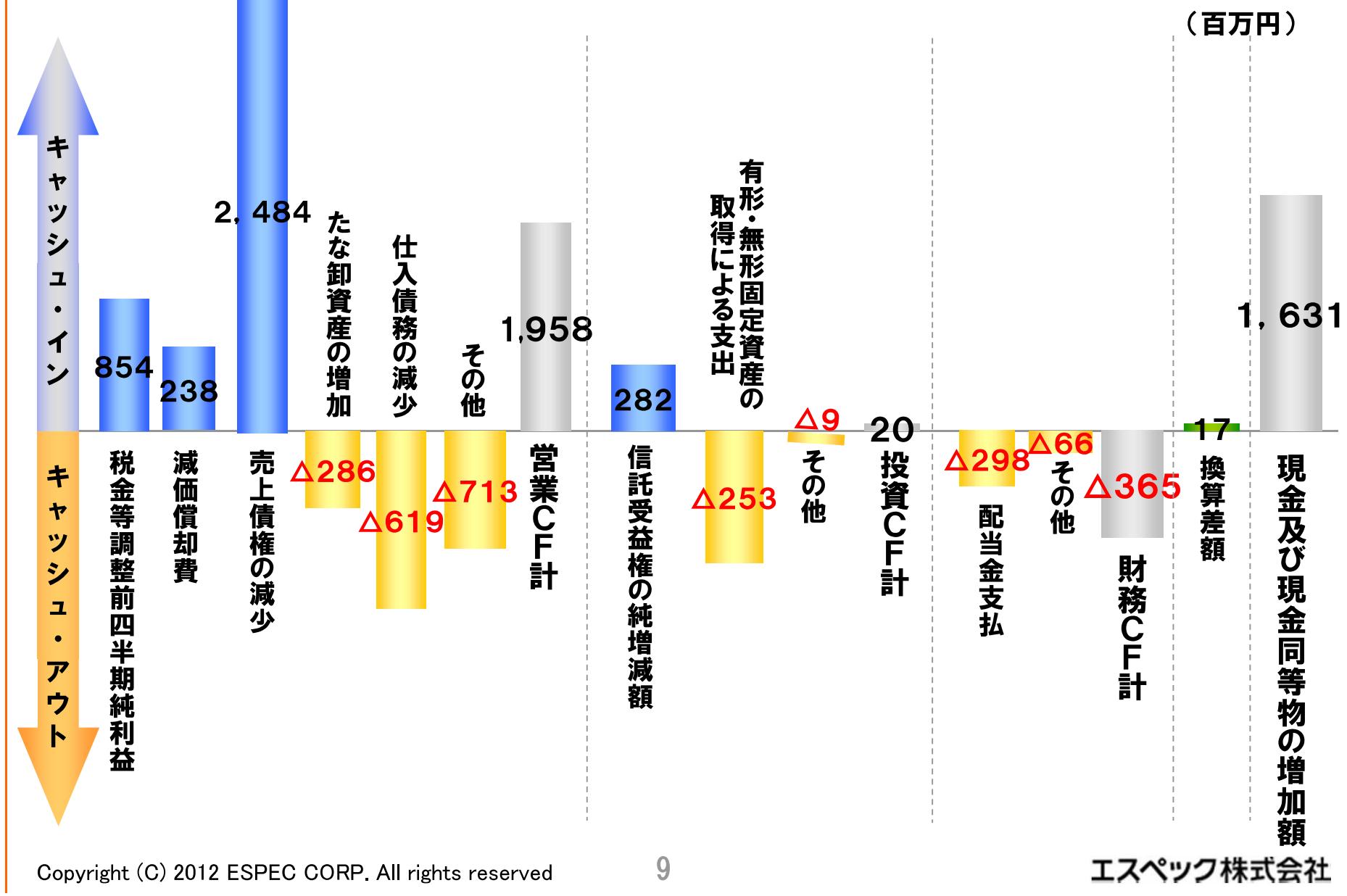
資産・負債の増減要因分析

(百万円)



■受取手形・売掛金などの減少により、総資産は約7億6千万円減少

キャッシュフローの状況





2013年3月期第2四半期決算 セグメント別分析

装置事業セグメント

環境試験器

- 国内市場では、新製品の販売が好調に推移したものの、カスタム製品や恒温恒湿室ビルドインチャンバーの売上高は前年同期比で減少
- 海外市場では、輸出が堅調に推移するとともに、中国子会社が引き続き好調
- 全体では、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

エナジーデバイス装置

- エスペック本体では製品拡充やデモ試験の実施による受注獲得・認知度向上に努め、二次電池やパワー半導体の評価装置や製造装置などの売上高が前年同期比で増加
- 子会社のエスペックテクノ株式会社の売上高は前年同期比で減少
- 全体では、前年同期比で受注高は増加、売上高は減少

半導体関連装置

- 計測システムが堅調に推移したが、全体では受注高・売上高は好調であった前年同期比で減少

FPD関連装置

- 受注高は前年同期比で減少
売上高は前期受注案件の納入もあり、前年同期比で増加

装置事業セグメント

(百万円)

	2012／3期2Q	2013／3期2Q	2013／3期2Q		期初2Q計画
			前年同期比		
受注高	13, 392	12, 975	△3. 1%		13, 700
売上高	11, 585	11, 419	△1. 4%		12, 600
営業利益 [利益率(%)]	513 [4. 4%]	642 [5. 6%]	25. 2%		700 [5. 6%]

サービス事業セグメント

(百万円)

	2012／3期2Q	2013／3期2Q	前年同期比		期初2Q計画
				△	
受注高	2, 699	2, 625	2. 7%	△2. 7%	2, 800
売上高	2, 486	2, 445	1. 6%	△1. 6%	2, 500
営業利益 [利益率%]	198 [8. 0%]	282 [11. 5%]	42. 2%		300 [12. 0%]

アフターサービス・エンジニアリング

- お客様の経費削減などにより、受注高・売上高は前年同期比で減少

受託試験・レンタル

- 主力のテストコンサルティングにおいて自動車市場が伸長するとともに
機器レンタルやリセールが好調に推移
- 全体では、前年同期比で受注高・売上高は増加

その他事業セグメント

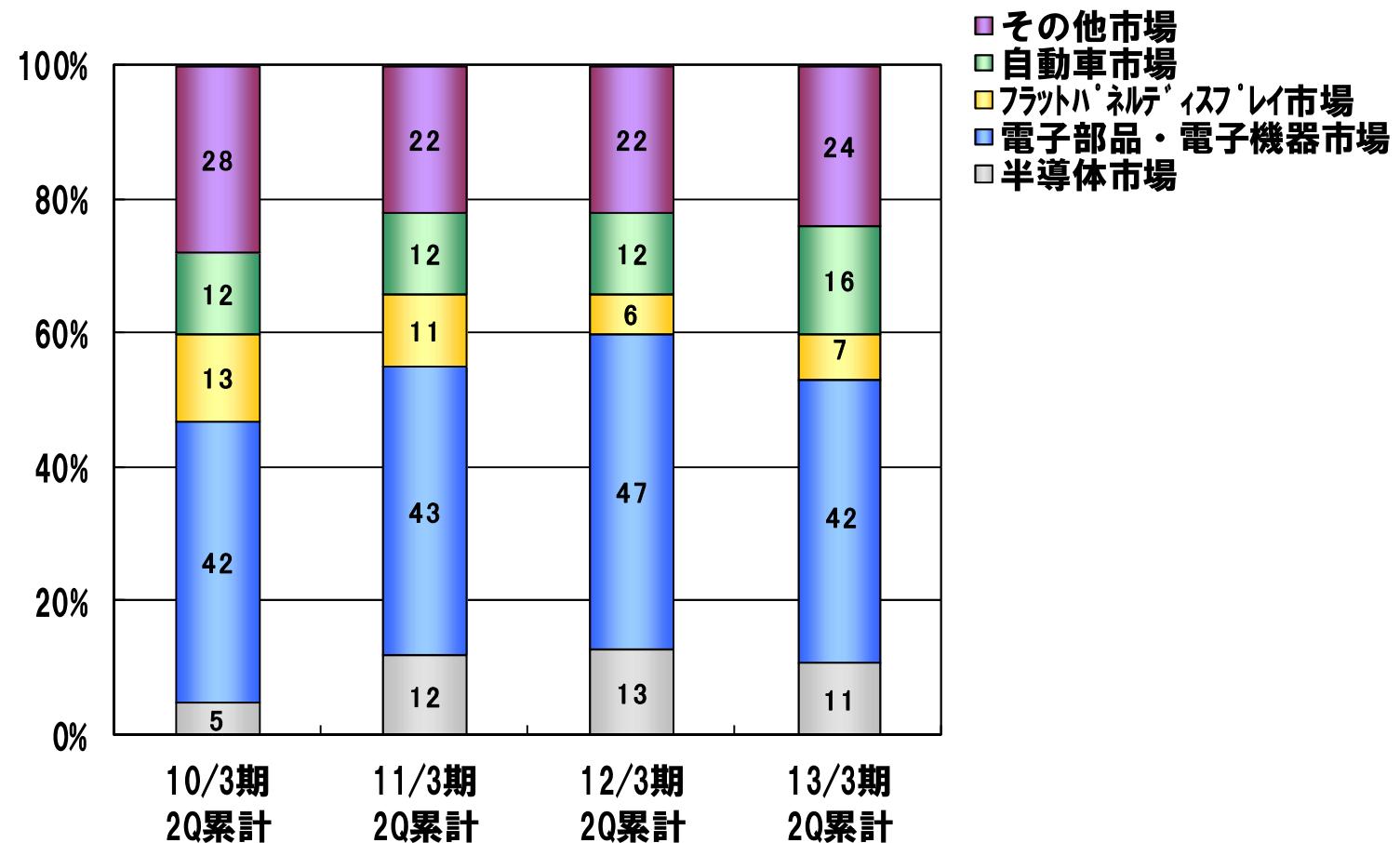
	2012／3期2Q	2013／3期2Q	前年同期比	(百万円) 期初2Q計画
受注高	273	611	123. 2%	850
売上高	290	491	69. 5%	450
営業利益 [利益率(%)]	△143 [-%]	△75 [-%]	—	△100 [-%]

環境エンジニアリング・植物工場

- 森づくりなどの環境エンジニアリング事業が好調に推移するとともに
植物工場事業において大型案件を受注
- 全体では、震災の影響により低迷した前年同期比で、受注高・売上高はともに大幅に増加

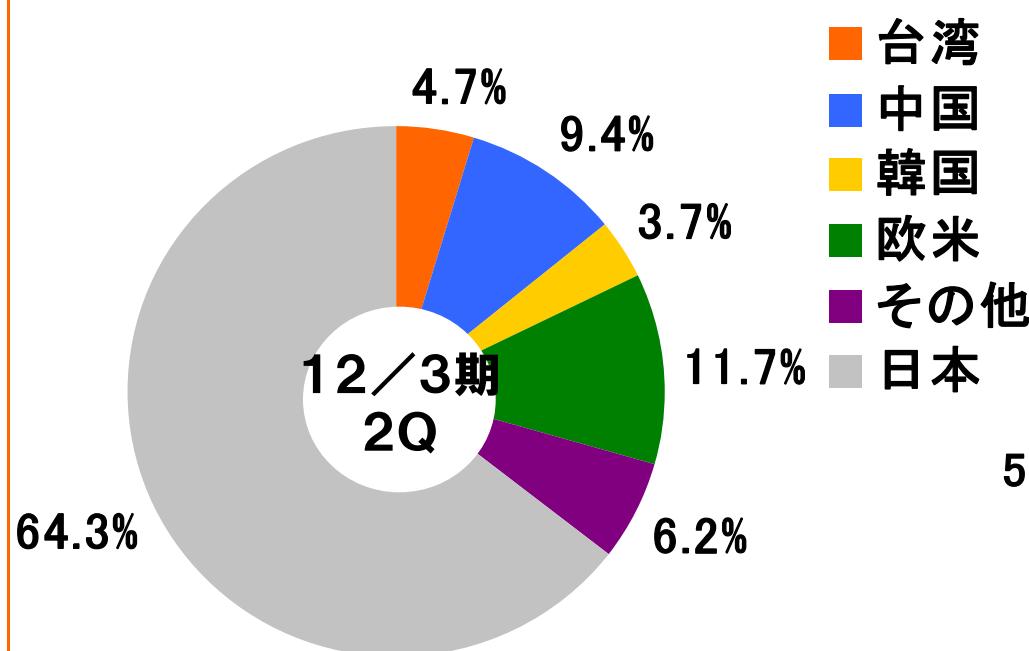
市場別売上構成比

単体(装置事業)



地域別売上構成比

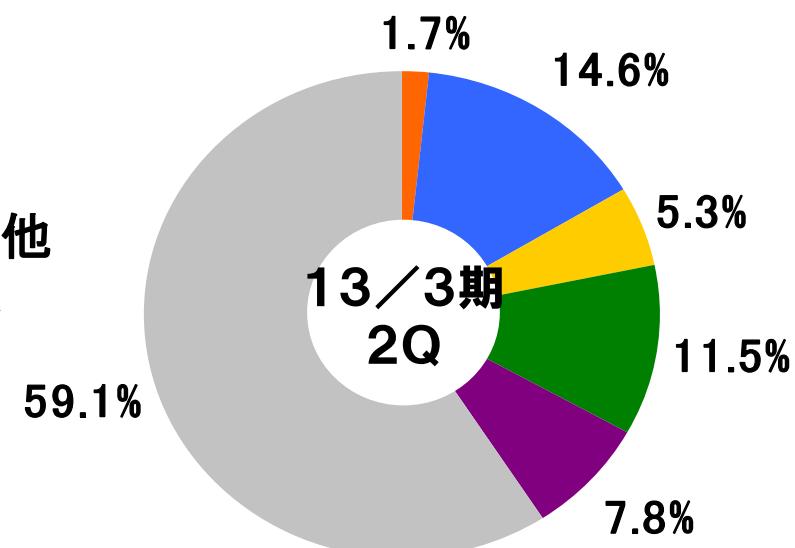
2012／3期 2Q

海外売上高比率:35.7%

計 14,306百万円

(海外売上高:5,103百万円)

2013／3期 2Q

海外売上高比率:40.9%

計 14,290百万円

(海外売上高:5,841百万円)



2013年3月期 通期計画

連結業績目標

先行き不透明な事業環境により、連結業績目標を修正

当社を取り巻く事業環境

- 円高(ドル安・ユーロ安)の定着
- 自動車市場での投資は見込まれるもの、主要顧客の多くでは業績悪化懸念による設備投資の抑制・先送りが継続
- 東南アジア新興国への投資のシフトが進むものの、日中関係悪化の長期化を懸念

	2012年/3月期 実績	2013年/3月期 修正目標	2013年/3月期 期初目標
売上高	319億円	320億円以上	350億円以上
営業利益	18億円	19億円以上	25億円以上
営業利益率	5.7%	6%以上	7%以上

2013年3月期 通期計画

(百万円)

	2012/3期	2013/3期 計画				
	通期 実績	上期 実績	下期 計画	通期(修正計画) 計画	前期比	通期 (期初計画)
受注高	31, 692	16, 138	16, 862	33, 000	4. 1%	35, 500
売上高	31, 906	14, 290	17, 710	32, 000	0. 3%	35, 000
売上総利益 [利益率(%)]	10, 538 [33. 0%]	4, 925 [34. 5%]	5, 675 [32. 0%]	10, 600 [33. 1%]	0. 6%	11, 550 [33. 0%]
営業利益 [利益率(%)]	1, 828 [5. 7%]	850 [5. 9%]	1, 050 [5. 9%]	1, 900 [5. 9%]	3. 9%	2, 500 [7. 1%]
経常利益 [利益率(%)]	2, 076 [6. 5%]	876 [6. 1%]	1, 224 [6. 9%]	2, 100 [6. 6%]	1. 2%	2, 700 [7. 7%]
当期純利益 [利益率(%)]	1, 929 [6. 0%]	618 [4. 3%]	682 [3. 9%]	1, 300 [4. 1%]	△32. 6%	2, 000 [5. 7%]
設備投資額	654	520	580	1, 100	68. 2%	1, 000
減価償却費	731	238	292	530	△27. 5%	550
研究開発費	1, 358	485	715	1, 200	△11. 6%	1, 300
1株当たり純利益 (円)	82. 31	26. 57	29. 32	55. 89	△32. 1%	85. 98

装置事業セグメント

(百万円)

	2012/3期	2013/3期 計画					通期 (期初計画)
	通期 実績	上期 実績	下期 計画	通期(修正計画) 計画	前期比		
受注高	25, 551	12, 975	13, 725	26, 700	4. 5%	28, 000	
売上高	25, 889	11, 419	14, 281	25, 700	△0. 7%	28, 000	
営業利益 [利益率 (%)]	1, 559 [6. 0%]	642 [5. 6%]	808 [5. 7%]	1, 450 [5. 6%]	△0. 7%	1, 900 [6. 8%]	

サービス事業セグメント

(百万円)

	2012/3期	2013/3期 計画					通期 (期初計画)
	通期 実績	上期 実績	下期 計画	通期(修正計画) 計画	前期比		
受注高	5, 320	2, 625	2, 675	5, 300	△0. 4%	5, 800	
売上高	5, 301	2, 445	2, 855	5, 300	△0. 0%	5, 600	
営業利益 [利益率 (%)]	486 [9. 2%]	282 [11. 5%]	318 [11. 1%]	600 [11. 3%]	23. 5%	700 [12. 5%]	

その他事業セグメント

(百万円)

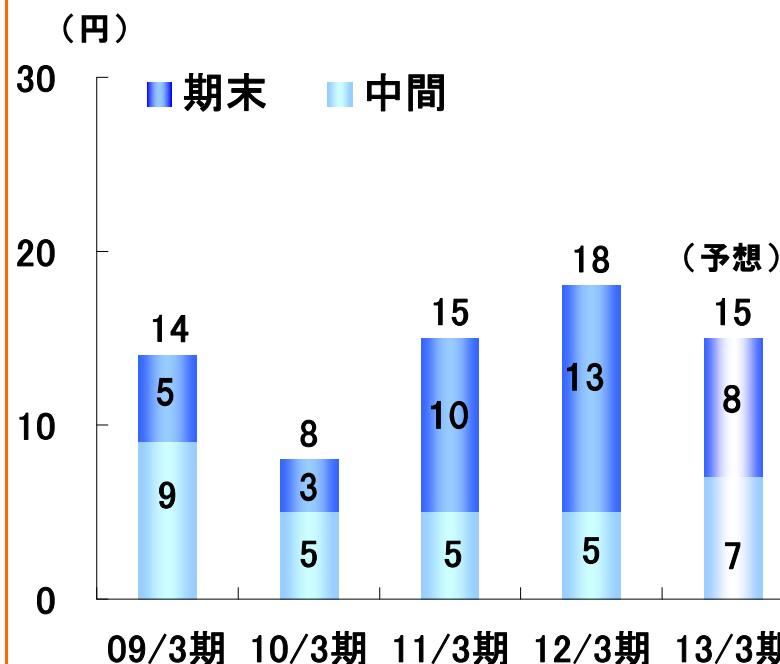
	2012/3期		2013/3期 計画			
	通期 実績	上期 実績	下期 計画	通期(修正計画) 計画	前期比	通期 (期初計画)
受注高	952	611	589	1, 200	26. 1%	1, 800
売上高	845	491	708	1, 200	42. 0%	1, 500
営業利益 [利益率(%)]	△218 [-%]	△75 [-%]	△75 [-%]	△150 [-%]	-%	△100 [-%]

配当政策

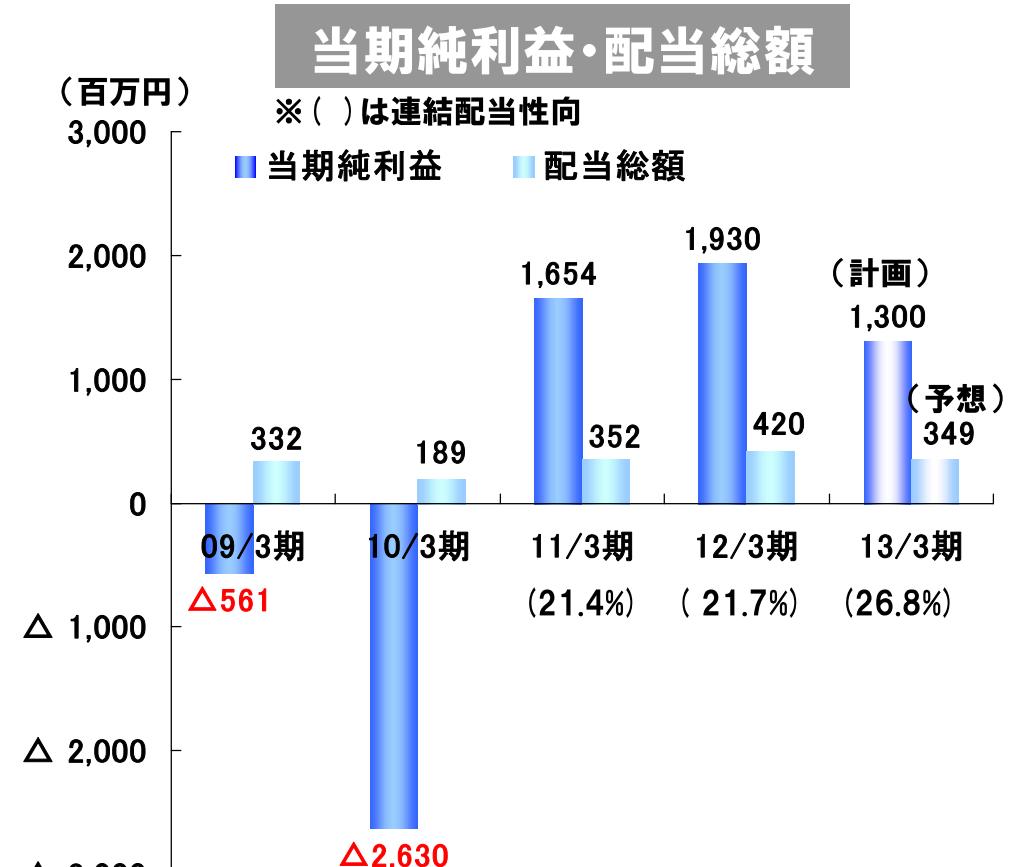
配当方針

株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

一株当たり配当金



当期純利益・配当総額





2013年3月期 下期取り組み

2013年3月期 経営方針

基本方針

『“強い商品づくり”と“強い工場づくり”』

方針1

グリーンテクノロジー市場での成長加速

方針2

中国・アジアを中心とした海外事業拡大

経営資源の投入

方針3

国内市場の深耕による収益力の強化

方針4

「機能改革」と「プロセス改革」による経営と事業活動のスピードアップ

方針5

時代に適した「マネジメント」と「制度改革」による
プロフェッショナルな人材の育成と達成感・やりがいの醸成

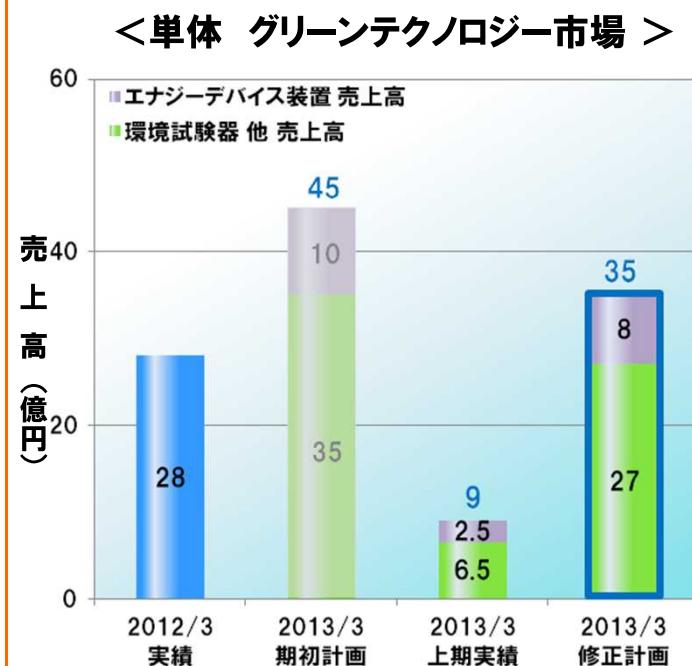
方針1 グリーンテクノロジー市場での成長加速

2013年3月期 修正計画

単体 グリーンテクノロジー市場 売上高 35億円（前期比7億円増）

下期取り組み

- カスタマイズ対応力の強化によって、「より安く」「より早く」を実現し、競争力を高める
- 二次電池の充放電サイクル評価装置のラインナップを拡充する



グリーンテクノロジー市場向け製品

環境試験器

<開発・評価用>

〔
二次電池の
充放電用恒温恒湿器〕



エナジーデバイス装置

<開発・評価用>

【大型冷熱衝撃装置】



<開発・評価用>

〔
二次電池の
充放電サイクル評価装置
(アドバンスト・バッテリーテスター)〕



方針2 中国・アジアを中心とした海外事業拡大

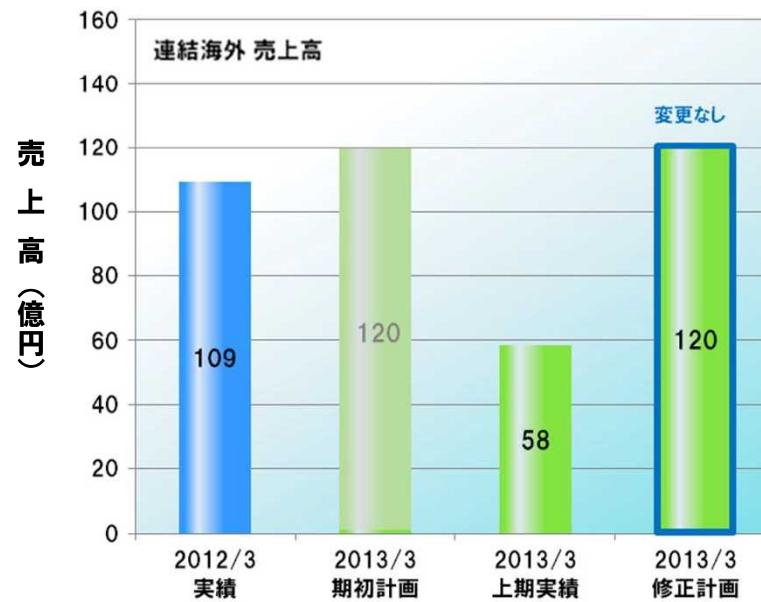
2013年3月期 修正計画

連結 海外売上高 120億円（前期比11億円増）

下期取り組み

- 中国内陸部での販売チャネルを開拓し、シェア拡大に取り組む
- 無償点検サービスを継続し、顧客開拓を進める
- 韓国エスペックでのハイパワー恒温（恒湿）器の量産開始と販売拡大に取り組む
- 上海エスペックでの冷熱衝撃装置の量産に向け、準備を進める

< 連結 海外推移 >



韓国エスペック

環境試験器を
下期に量産を開始し、
販売拡大に取り組む



上海エスペック

冷熱衝撃装置の
量産開始に向け、
準備を進める



【ハイパワー恒温（恒湿）器も生産】

【冷熱衝撃装置も生産】

方針3 国内市場の深耕による収益力の強化

2013年3月期 修正計画

連結 国内売上高 200億円（前期比10億円減）

下期取り組み

- プラチナス Jシリーズを進化させ、さらに競争力を高める
- 恒温恒湿室ビルドインチャンバーとカスタム製品の販売拡大に取り組む
- 内製化を進め、収益力を高める



プラチナスJシリーズの
魅力の向上



省エネルギー



[恒温恒湿器 プラチナス Jシリーズ]

買い替え
促進

Quality is more than a word

ESPEC



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

経営企画本部長 澄田 健二

経営戦略部 戰略企画グループ 小林 奈津子

εSPEC

參考資料

会社概要

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭 (いしだ まさあき)
創業年月日	昭和22年7月25日
設立年月日	昭和29年1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,352名(連結)
主要業務	環境試験機器、エナジーデバイス・半導体・FPD関連装置、植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



【本社】

(2012年9月30日現在)

グローバルネットワーク



(2012年9月30日現在)

環境試験の沿革

環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<1950年代>

日本で民生品の環境試験がJIS規格化



<1970年代・1990年代>

「信頼性」「品質管理」が製品開発の重要なテーマとなり、電子化・電装化の加速に伴い需要が飛躍的に拡大



<現在>

二次電池や太陽電池など新エネルギー分野において需要が拡大

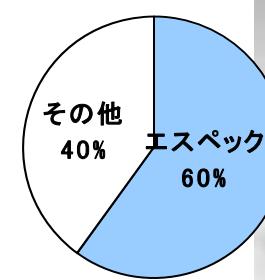


1961年 日本初の環境試験器を開発



【低温恒温恒湿器 ルシファー】

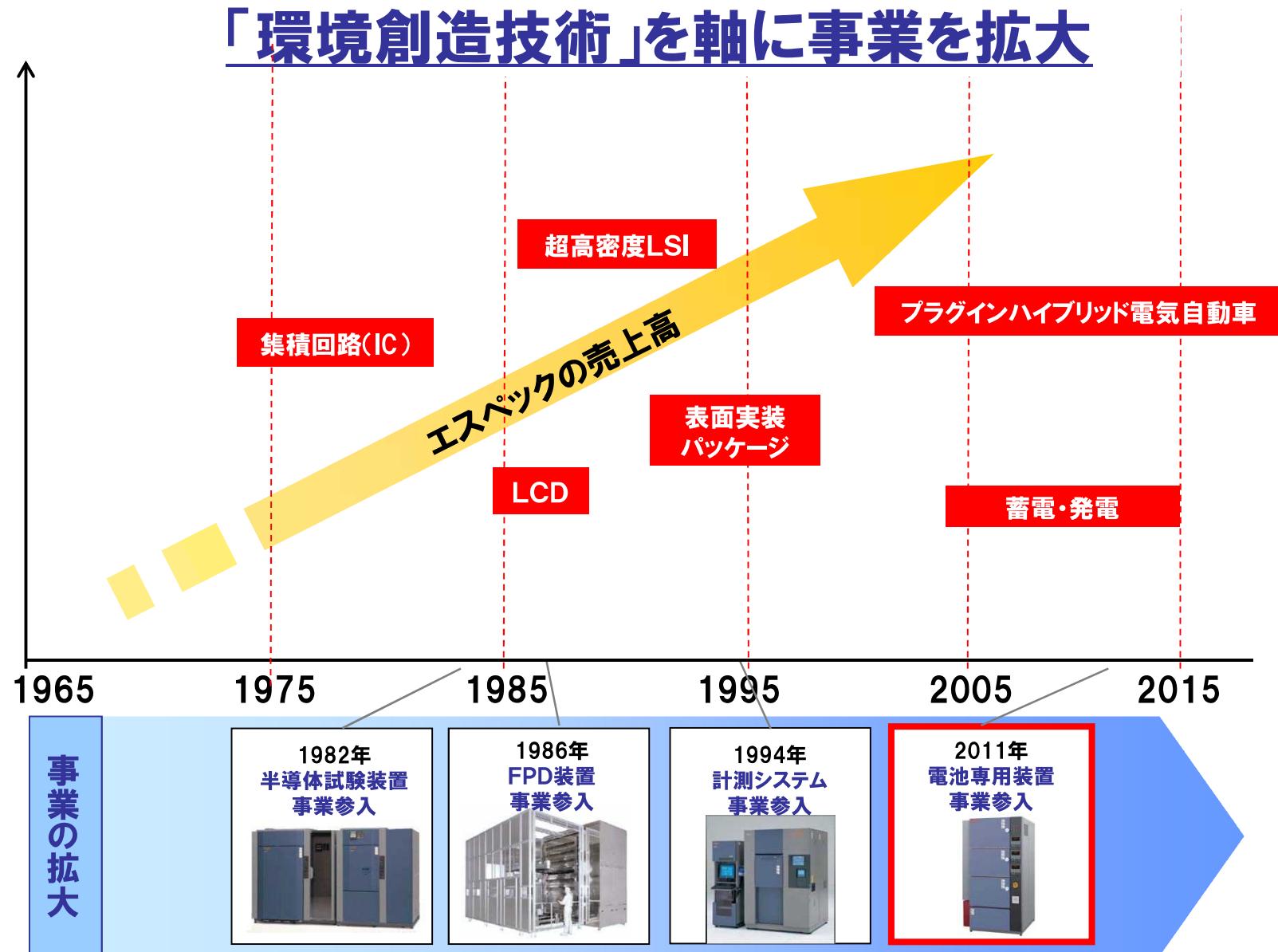
国内シェア No.1に



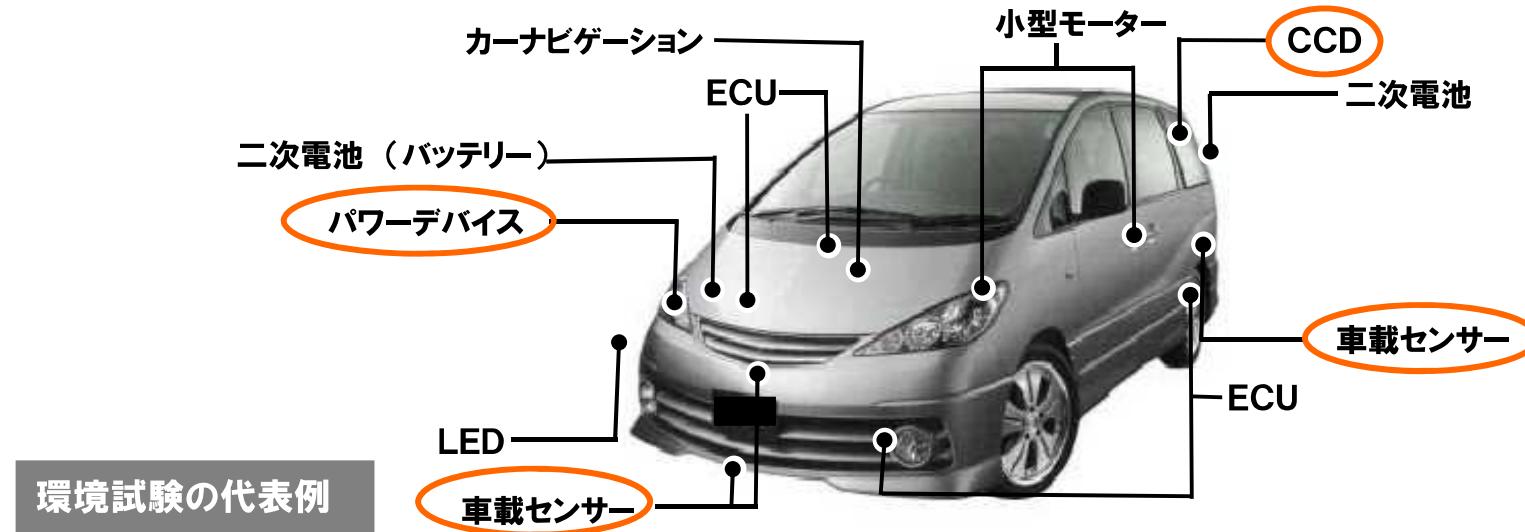
※2010年度当社推定

【恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ】

事業の変遷

環境試験器で培った「環境創造技術」を軸に事業を拡大

【装置事業】環境試験器の用途事例



デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}, +85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \leftrightarrow \text{RT} \leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}, -55^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
	検査	■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\% \text{rh}, +60^{\circ}\text{C} / 90\% \text{rh}$	恒温恒湿器(プラチナス)
		■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\% \text{rh}$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}, -20^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

【装置事業】新製品紹介

発売日	製品名	特長
2012年5月	真空オーブン	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大40% ・カスタマイズ容易性
2012年5月	安定性試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・(業界初) 設定温湿度への±2°C ±5%保証 ・省エネ最大31%
2012年3月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ 6器種追加	<ul style="list-style-type: none"> ・全器種をラインアップ
2011年11月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ EHタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大50% ・冷凍回路の信頼性向上
2011年10月	恒温恒湿器プラチナスJシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大70% ・カスタマイズ容易性 ・機能の拡張性(通信ネットワークなど)
2010年11月	恒温恒湿室ビルドインチャンバーEシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大60%
2010年9月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ Eタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ最大37%

主力
3製品

【装置事業】TOPICS

「恒温恒湿器プラチナスJシリーズ」が
2012年度グッドデザイン賞を受賞しました！

Jシリーズの特長である「高い信頼性・性能」「大幅な省エネ」「カスタマイズ容易性」「機能の拡張性」に加え、細微にまで使いやすさにこだわった高いデザイン性が評価されました。

当社の受賞は26件目であり、
2011年度は「冷熱衝撃装置TSAシリーズ」が受賞しました。

※グッドデザイン賞

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザインの推奨制度。1957年創設。



GOOD DESIGN



【恒温恒湿器プラチナスJシリーズ】

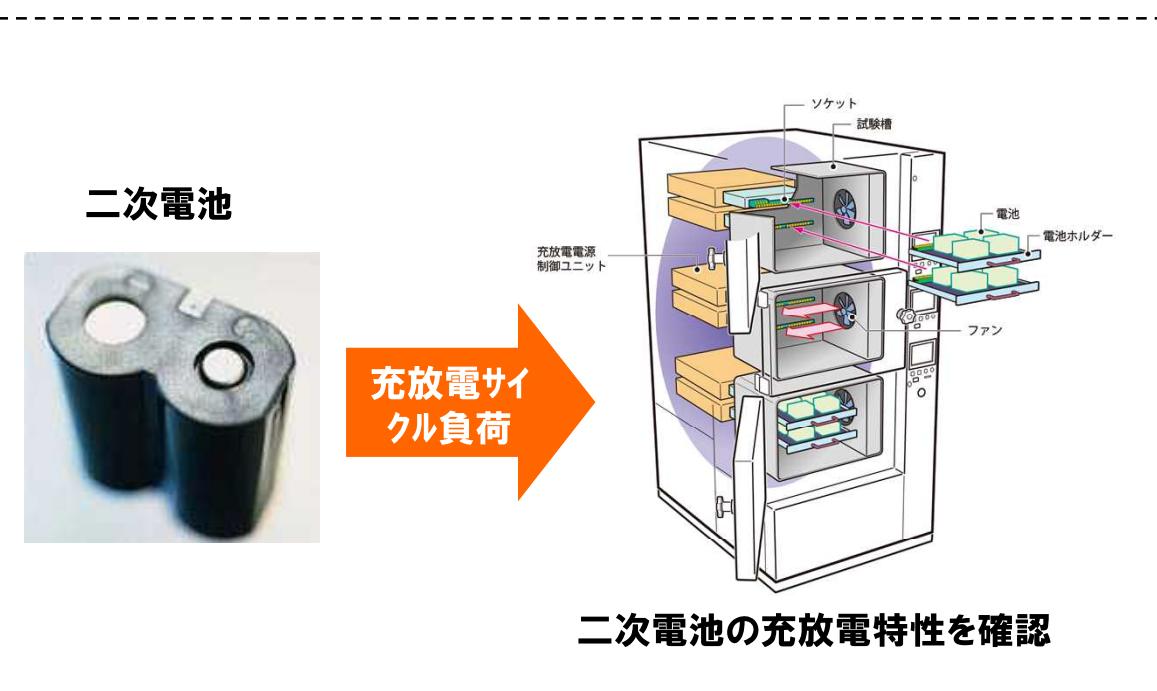
【装置事業】エナジーデバイス装置の用途事例

充放電サイクル評価装置

ハイブリッド自動車や電気自動車など次世代自動車に用いられるリチウムイオン二次電池の信頼性や安全性を確保するための装置



充放電サイクル評価装置



二次電池の性能や寿命を評価

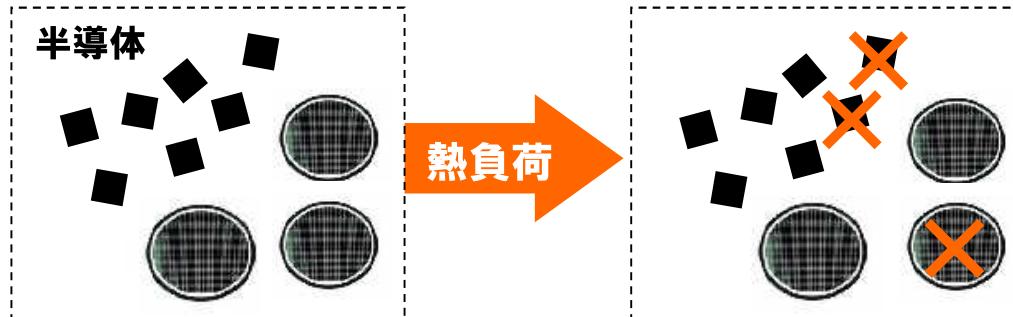
【装置事業】半導体関連装置の用途事例

スクリーニング

半導体デバイス製造の検査工程において、量産化に向けた製品信頼性を確保



バーンインチャンバー



潜在的な初期故障を除去

信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム



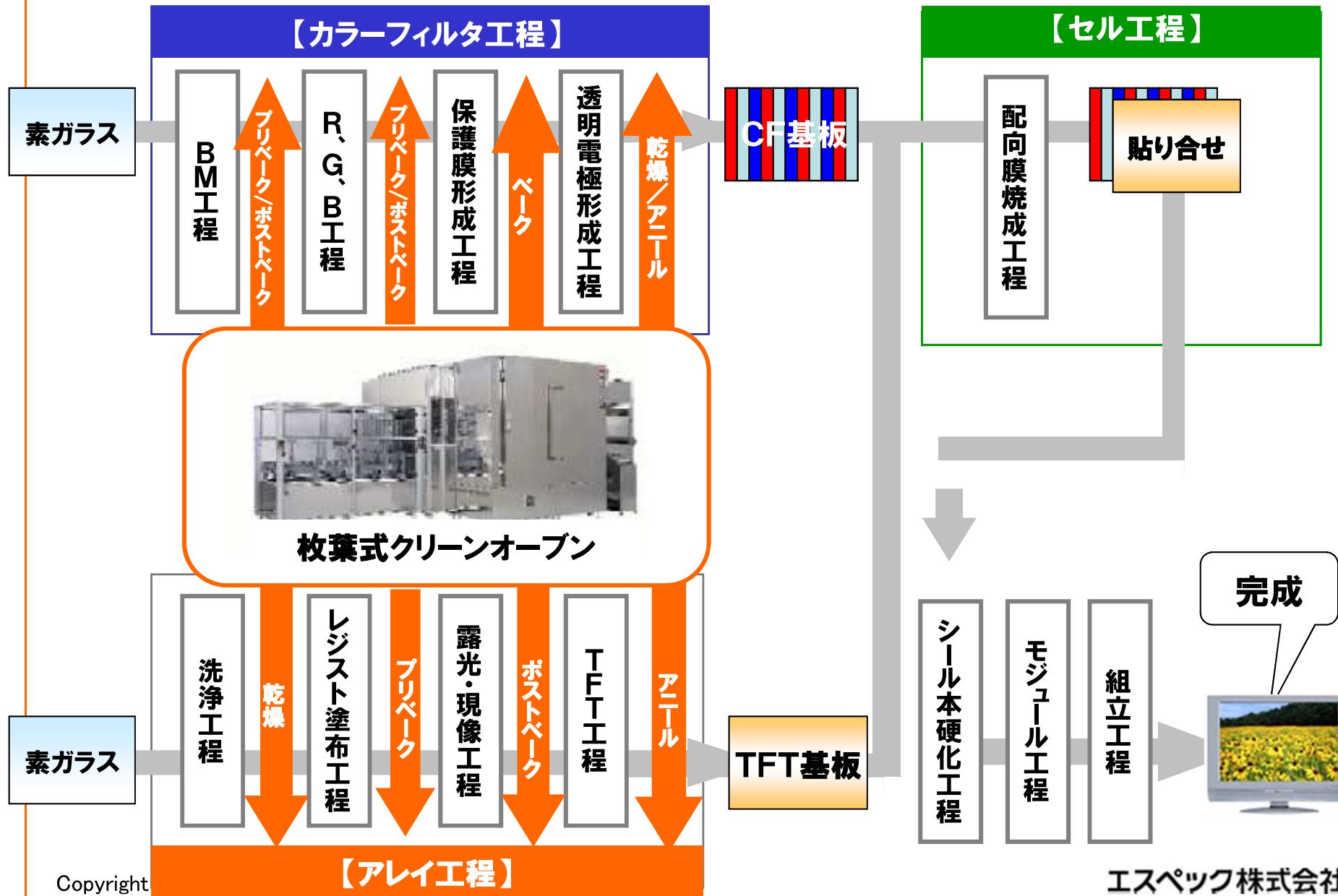
電子部品の接合部分の信頼性を電気的に評価

熱サイクル負荷



はんだ接合部分の不良例

【装置事業】FPD関連装置の用途事例



【サービス事業】

アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内No. 1のネットワークによるスピーディな対応
- 世界各国に代理店を構え、海外においても万全の体制でサポート

受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 新しい試験ニーズに隨時対応
 - ・二次電池の充放電試験など新たな要望に対応した装置の導入
 - ・省エネモデルなど新製品を随时導入
- 全国4箇所に受託試験所を設置
(宇都宮・豊田・刈谷・神戸)
 - ・ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所
 - ・計量法校正事業者認定制度 (JCSS) に基づく校正機関



【受託試験 作業風景】

【その他事業】環境エンジニアリング

環境エンジニアリング

■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり



■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化



■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム

エスペックミックの「チガヤマット（張芝タイプ）」が
エコプロダクツ大賞推進協議会主催の第8回エコプロダクツ大賞※
審査委員長特別賞（奨励賞）を受賞しました！

※2004年、環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（エコプロダクツ）に関する情報を広く伝えるとともにエコプロダクツのさらなる普及を図ることを目的として創設



【その他事業】 植物工場事業

植物工場事業

植物の育成に必要な光・温湿度・養分などを最適にコントロールして植物を育てる植物研究・育成システムおよび装置

<装置事例>

■ プラントセラー

飲食店など設置スペースに合わせてサイズが選べるコンパクトな野菜育成装置



■ コンテナ式植物工場

コンテナ内に人工光源や空調設備などをユニット化して装備した輸送・設置が容易なコンテナ式



■ ファイトロン

アグリガラスを採用した自然光型環境調整装置

